



## 人口減少歯止めとなる、定住自立圏協定を

答 地域の活性化に結びつく施策の創出に努力する



益子明美議員

質問 定住自立圏構想について伺う。

①八溝山周辺地域定住自立圏構想研究会が設置されたが、ここに参加を決定した理由は。

②那珂川町の課題はどのような分野で、対策として実現したいことは何か。

③医療問題の課題として、休日夜間急患センターの設置を望む声があるが、研究会の中で取り上げる考えはあるか。また、廃棄物処理の広域化も課題として想定されているが、将来的に那珂川町として一般廃棄物の処理をどのように考えているのか。

答弁 ①定住自立圏は、人口5万人程度以上の中心市

と経済・社会・文化等において密接な関係を有する周辺市町村で圏域を構成するもので、大田原市より研究会の話をいただいた。那珂川町でも人口減少の中で圏域での協力、体制強化により町民の福祉向上と定住促進のための生活機能の確保等につながることを考え、研究会に参画した。

②医療や一般廃棄物の処理の問題、地域公共交通のネットワーク化や道路網の整備、観光における連携等が考えられる。

③政策分科会の中で研究していくが、南那須広域との連携を最優先に考えその上で医療・一般廃棄物処理の問題も話し合いを持ちたいと考える。

### 子どもたちへの放射能対策を万全にすべき

質問 子どもたちが生活

する環境、食物からの被曝をできるだけ避けなければならぬ。町の対策を伺う。

①現在、那珂川町の保育園、幼稚園、小中学校ではどのような対策がとられているか。

②学校給食の安全性を確保することは、行政の重要な役割である。どのような対策がとられているか。

③積算線量計（ガラスバッジ）を購入し、数値を公表している自治体が増えている。那珂川町でも、子どもたちの環境がどのような状態におかれているかを知るために、導入すべきではないか。

答弁 ①現在まで県及び町で放射線の測定を行ってきた。今年1月に馬頭・小川ロータリークラブより県の放射線測定器と同等の測定器が寄贈されたのを機に各学校輪番で定期的に測定を行い、ホームページ等で公表していく考えである。

②学校給食会からの食材は県の検査で、また地元農産物については農業振興事務所

の指導に基づき検査を

し、現在までの測定では、放射線は検出せずとの結果になっている。

町としては、新年度に給食用食材の放射能測定器を導入する予定で、さらに保護者の不安解消に努める。



食材はしっかり検査されている

③安全イコール安心ではないので放射能対策については、慎重に対応したいと考える。現在よりも高い数値が測定されるような場合は、積算線量計の導入も検討する。

### 補助金を頼りにしない 那珂川町地域振興策を

質問 ①那珂川町地域振

興計画の中で、支援制度の活用とあるが、支援制度とは具体的に何のことか。

②計画の概要に「政策として信頼を構築する」とあるが、具体的に誰と誰の信頼関係を言っているのか。地区計画や区域指定はどこになるのか。

③委員会メンバーの行政区代表者はなぜ、小口・小砂・和見地区だけで、他の行政区長は選出されていないのか。

答弁 ①当町に有利な補助事業や起債事業などを合わせ、県と締結した馬頭処分場に関する基本協定に基づく県の支援、さらに東日本大震災復興交付金制度の活用を検討している。

②地域振興の話し合いを通じて共通理解を深めながら地区計画を推進する。地区計画や区域指定は協議中である。

③20人の委員のうち、町が地域振興の提案を行った3行政区長に委員になっていただき、協議を行っている。

## 町長2年の施政をただす

答 原子力災害対策も含め地域防災計画を見直す



益子輝夫議員

替えが予定されているが、それによって町民への持続的な事業や行政サービスはどうなるのか。

②生活と環境―原発を含めた防災計画はできたか。

**質問** 今不景気な経済情勢の中、消費税の増税やT P P問題などでさらに厳しい状況になってくると思うが、町民のみなさんは介護保険料や健康保険料の値上げなど毎日の生活に支障をきたす状況にある。

町長は、震災や福島原発事故の影響もまだ残っている中、苦労されているのではないかと思うが、そういう中で、工場誘致や雇用問題など良く頑張ってきたと大いに評価したいと思う。

4月から消防団が再編されるが、原発問題も含め新しい防災計画を作成したのか。地域の問題解決に向けた地域と行政機関等の連携による新たな地域社会づくりなどを考えていく必要があると思うが防災との関連ではどうなのか。

③健康・福祉・医療―高齢化・少子化に対する対応は。全国的にも厳しくなってきたているが、町の高齢化・少子化社会に対する社会保

①行財政改革―町民サービスはどうなるのか。  
本庁舎や消防庁舎の建て

障関連サービスのあり方は。④地域経済の活性化―地場産業の維持、育成策は。地場産業や農業を含めた地域経済の活性化を何としても進めなければならな

い。そうしなければ税収が落ちるのは目に見えてくる。地場産業や農業の維持・活性化をどう考えているのか。

⑤教育・文化―教育、学習環境の整備は。

これから、学習環境の整備についてどういう考えをもっていくのか。

**答弁** ①行財政改革と安

全安心な町づくりを進めるうえで、課題になっているのが東日本大震災による被災した庁舎及び広域消防の再編に伴う消防庁舎の建設であると考えているが、町民への持続可能な事業やサービスについては、質の低下を招かないよう配慮しながらサービスの提供に努めていく考えである。

②原発を含めた防災計画は、現在、栃木県が地域防災計画の見直しを進めており、今年9月ごろ策定される予定である。町は、これに合わせて24年度中に町地域防災計画の見直しを行い、原子力災害対策も盛り込む予定である。

③高齢者福祉については、

計画に基づき介護施設の整備を図り諸施策を推進してきた。24年度は要援護者マップをもとに地域住民等のネットワーク、地域見守りネットワーク事業の立ち上げを計画している。

少子化の社会保障サービスは、妊産婦医療費や不妊治療助成事業のほかそれぞれの時期に適した子育て支援を実施できるよう努めていく考えである。



町内に進出した企業 (大平工業団地)

④町は総合振興計画で、観光と連携して商工業や農林水産業の振興をはかっているところである。また、町への企業立地の促進と産業振興、新たな雇用機会の創出をはかっている。現在、大平工業団地に(株)桜乳業、加ト吉工場跡に(株)タヤマ、旧馬頭東中学校跡に県北木材協同組合が進出している。

⑤次世代を担う子どもたちの教育、学習環境を整備することは、当町の子育て支援の重要な課題の一つとしてとらえている。

学校施設の耐震化や大規模改修に取り組み、安全な教育環境の整備に努めている。また、適正規模での学習環境を整備するため町内小・中学校の統合を進めてきた。今後、小川地区3小学校の統廃合や電子黒板など学校I T Cの推進、教員の一層の資質の向上などにより、児童生徒の学力向上に努めていく。

## 職員の提案活動は現在どのような状況か

答 提案制度を活用した提案は出ていない



塚田秀知議員

**質問** 数年前、川上議長が改善提案について質問されたことを記憶しているが、改善提案の重要性は企業に勤めていた方は誰でもよく認識していることと思う。大金町長も以前大企業に勤めていた経験があると聞いているので、職員に対し、活発な提案活動をするよう指導されていると認識している。また、平成18年、那珂川町行財政改革推進計画の概要が制定された中に、年間一人1提案以上の実践と記載されている。

そこで次の4項目について伺う。

①平成18年度から22年度までの年間提案件数は年度別にどのくらいあったのか。

②提案された中で費用対効果はどのくらいか。  
③ソフト面で住民サービスにつながるような提案件数はどのくらいあったのか。  
④職員に対する提案啓蒙活動はどの課が担当しているのか。

**答弁** ①平成18年度から平成22年度までの提案は1件であるがこの事案は職員個人の人事面での要望であったので、人事異動の参考扱いとした。

②費用対効果については検証していない。しかし、事務事業の効率的な執行の提案改善等は課や係を超え全庁にわたり日常的に行っている。  
③住民サービスにつながるものでは職員の発案により所得税の確定申告の休日受け付けを期間中2回実施している。また、夏の暑さ対策として、緑のカーテンを取り入れ、苗は職員互助会

が提供した。これらはあくまで日常業務内の発案で提案制度の活用がない状況なので、今後は出しやすい提案制度の実践に取り組んでいきたい。  
④提案制度の啓蒙については、総務課が所管しており、全職員を対象にこの制度の説明会をしているが、制度が活用されないのも事実である。今後職員提案制度の活用を推進し、職員の意識向上、職務意欲の喚起に努めていきたい。

## 馬頭広重美術館の運営について

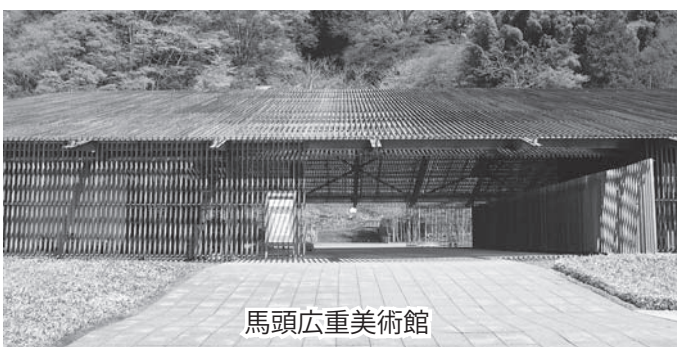
**質問** 平成12年11月開館以来、馬頭広重美術館も12年と半年が経過し、昨年6月15日に入館者が50万人に達成したことは、大変喜ばしいことである。那珂川町に広重美術館があるということが、広く県内外にも知れ渡り、それなりの経済効果をもたらしたことは、紛れもない事実であり、これもまた喜ばしいことである。私は、芸術、文化を否

定する訳ではないが、現下の厳しい情勢のなか、現状のままの運営で良いものなのか。次の3項目について伺う。

①年々入館者が減っているが、今後どのような増員計画を考えているか。  
②美術館の屋根の傷みが進んでいるようだが、修繕計画はあるのか。  
③町内外を問わず70歳以上の高齢者を入場無料とした背景は。

**答弁** ①増員の方策については、平成13年の9万1千人をピークに年々減少し、ここ数年は3万人前後で推移している。PR活動が重要であり、商工観光課と連携し町内外の公共施設、駅窓口等へのポスターやチラシの配布、さらに旅行雑誌や旅行者業者へのPRを強化している。一方町民の来館を増やすため町民に親しまれる美術館を目指している。身近な生活文化を展示し、入館者を増やし、地域への波及効果が図れる魅力ある企画に努めていきたい。

②屋根の修繕計画だが、屋根のルーバーに使用している杉の木材は、防腐処理を施してあっても永久に持つものではなく、今後修繕のあり方を含め状況を見ながら検討していく。  
③70歳以上の高齢者を無料にした背景については、当時町では福祉のまちづくりを掲げており、高齢者福祉の充実を目的として無料とした。今後高齢者の有料化については、広重美術館協議会の意見を聞いた上で検討していく。



馬頭広重美術館

## 子育て支援及び若者定住対策について

答 若者定住のため、企業誘致を積極的に推進する



佐藤信親議員

る考えはあるか。

【答弁】 ①出生率が減少する中30年、40年後には人口1万人規模になることが推定されていることから、24年度より子育て支援係を新

たに設置し、今まで以上の支援を図る。また、若者の定住を促進するためには、働く場所の確保と雇用の創出も大変重要であり人口流出に歯止めをかけるためにも、企業誘致を今後とも積極的に推進したい。

②多様化する若者のライフスタイルに応じた住環境整備などと併せて、若者の定

住意識に関するアンケート調査等も実施し検討したい。

③若者定住対策を兼ねた子育て支援住宅の建設については、民間事業者との兼ね合いもあるが、町の活性化につながる事項であるので今後調査研究を行い検討したい。

## 資材提供事業について

【質問】 協働のまちづくり

については、町総合振興計画前期後期計画に重点事業として各種方面でその効果が出ているが、地域や集落内での住環境に関する要望は様々な事項があると思うが、地域住民で実施可能な事項については、資材を提供し労役は住民が負うという資材提供事業の創設や那珂川町提案型補助事業の事業項目の見直し等により実施できないか伺う。

【答弁】 現在のところ

資材提供の要望はないが、隣接市町において、町民との協働による道普請の支援制度を創設し、取り組みを行っている自治体もあるので、調査研究したい。また、提案型補助制度の関係についても検討したい。

## 駒形大塚古墳周辺の公有地化事業について

【質問】 国指定史跡である

駒形大塚古墳周辺地区の公有地化事業について、現在の状況及び今後の方策について伺う。

【答弁】 町の公有地化区域

内での交換分合の対象地については、登記も完了し取得済みであるが、町の公有地化計画にも関連性があるため、未了である未登記の交換分合についても出来る限りの支援を行いたい。



若者の定住対策には住宅が必要 (南町住宅)



駒形大塚古墳

【質問】 子育て支援及び若者定住対策については、様々な対策及び施策が講じられているが、依然として少子化の傾向に歯止めをかけることが出来ない現状にあり施策の見直しも含め今後の対応等について伺う。

①町総合振興計画後期計画に様々な子育て支援施策が掲げられているが、若者定住対策が講じられていない、今後の対応についてはどうか。

②若者が結婚後町外に転居する傾向にあるが、その原因について検討したことがあるか。

③低家賃で子育てに適した間取りを取り入れた若者専用子育て支援住宅を建設す

## 処分場は、必要のないのではないか。

答 このまま放置しておくことが一番危険である



小林 盛議員

**質問** 私は、那珂川町において、タブー視されている処分場問題に真正面から取り組んでいる。それは、那珂川町民が安全安心で良好な生活環境を享受する権利を、守ること、不法投棄という犯罪を解決するために、公共事業で百数十億円もの税金を注ぎ込み産廃処分場を作るといふ、住民だましのな行政にストップをかけなければ、という思いから次の3点について伺う。

① 処分場を受け入れてまで解決しなければならぬ北沢のゴミとは、一体何が危険なのか。

② 処分場で解決を図るメリット、デメリットをどう

考えているのか。

③ 北沢の不法投棄は、行政側から危険だ、危険だと言われ続けたにも拘わらず、この問題を解決できないで22年間も経過してしまった訳だが、何の問題も一度も起こらなかった。産廃処分場を受け入れてまで解決を図る必然性がないのではないか。

**答弁** ① 北沢の不法投棄の危険性について、平成12年の詳細調査でダイオキシン、鉛、揮発性有機化合物が検出された。現在までモニタリングを実施しているなかで汚染拡大の兆候は認められていないが、違法に不法投棄された廃棄物であり、将来自然災害等による不慮の事態を想定すると、このまま放置しておくことが、一番危険であると考えている。



北沢の不法投棄現場

② 費用対効果については、地域住民の安全を守ることが一番の責務であると考えているので、費用対効果で判断すべきではないと考えている。

③ 22年間もの長期間解決できないのは、必要性がないからではないかとのことだが、必要性がないからではなく必要な手続き等に時間がかかっていると聞いている。引き続き早期解決に向けて取り組んでいく。

## 町道の改良工事について

ついて

**質問** 県道那須黒羽茂木線の和見桜馬場から岩下を通って、給食センターの前から国道293号の都へ抜ける町道について伺う。

県道側出入口付近に給食センターや、ひばり幼稚園があり馬頭市街地とを結ぶ近道ということもあって、車の通行量が非常に多い。国道293号側は交差点が近く、車の渋滞の間を縫うようにして、町道へ出入りをするという危険な状況である。平成20年にも同様の質問をし、その時は別な改良工事と一緒にやるという答弁だった記

憶があるが、全く進んでいない。早急に検討していただきたい。

**答弁** 都橋付近は町道が何路線も重なっており、現在、国道293号、馬頭バイパスが計画されている。県も危険な交差点と認識しており、交通管理者と協議して、安心な交差点を作ることを、現在計画中である。



交差点付近は交通量が多く危険。(都地内)

## 子どもたちの甲状腺被曝検査は

答 放射線量が基準以下なので検査の実施予定はない



橋本 操議員

**質問** 福島第一原発が水素爆発を起こし、放出中の放射性物質が人体に悪影響を与えていると思われるが、町は町民の健康をどのように考えているか何う。  
①中学生までの子どもを対象にした甲状腺被曝検査を実施する考えはあるか。  
②保育園、幼稚園、小中学校のグラウンドや建物周辺の放射性物質の検査は、どのように行っているのか。安全性はどうか。  
③通園、通学路等で放射性物質が蓄積していると思われる箇所を調査したのか、今後する予定はあるのか。

単独での検査を実施する予定はない。甲状腺に変化が見られた場合には、県教育委員会や学校医等と相談し対応する。

②校庭や排水溝、落ち葉など5箇所から8箇所ぐらい放射線量の調査を行っている。基準値を下回っており安全と考えている。保育園の園庭は毎日、2回測定しており、国の基準値以内である。

③当町は、汚染状況重点調



園庭での放射能物質の検査  
(馬頭中央保育園)

査地域に指定されていない。また、学校内の放射線量検査でも基準値を下回っているので通学路での測定は行っていない。今後も予定していない。

## 町有施設の管理について

**質問** 町民プールの更衣室に不法侵入した男が逮捕されたが、男は3箇月にわたり寝泊りをし、室内で火力を使用し、食事もとっていたことが新聞等で報道され、皆さんの管理に安全安心のまちづくりに不安と失望が残った。町は議会に対し何ら説明もなかった。そこで何う。  
①更衣室の出入口の施錠はどのようになつていたのか。今後の重点対策は。  
②プールや水道水源地への不法侵入や、有害物質の投入阻止の現況と今後の重点対策は。  
③町有施設全体の管理体制の見直しと、防犯カメラの設置を考えるべきと思うがどうか。

**答弁** ①プールへの出入口は正面の1箇所であり、開場期間終了後は、保守点検など点検時に職員と委託業者が施錠を確認した。その際、内部出入口の更衣室、窓の施錠までは確認していない。犯人は、プール周囲のフェンスを乗り越え侵入したと考えられ、事件後は、定期的に巡回し外部及び内部の施錠を確認している。

②プールは、周囲を約2メートルのフェンスで囲まれており、使用期間中は職員による施錠の確認と、毎日1回開場前に遊泳プールの衛生基準に合った水質検査を実施している。今後、不法侵入防止対策として巡視に加え看板等を設置し注意を喚起し、さらなる防犯対策を行っていく。水道水源地等への不法侵入や有害物質の投入阻止については、す



町民プール

べてネットフェンスを配置し、井戸の鉄蓋は施錠する対策を行っている。県北地区で発覚した青酸カリ紛失に当たっては、全施設を点検している。  
③事件発生以来、改めて施錠の再確認や施設の巡回をしている。防犯カメラは、個人情報やプライバシー保護に課題がある。費用対効果を踏まえ検討する。